

平成29年3月24日（金）於 東京国際会館
文部科学省主催 留学コーディネーター配置事業シンポジウム

インド事情のご報告



日本留学フェア（デリー） 写真（上, 右下）：大使館提供



2017年1月25日インド工科大学カラグプール校にて
日本留学説明会の様子



東京大学インド事務所 所長 吉野 宏

■ 留学コーディネーター事業（インド）活動概要	3
■ インド人留学生関係ネットワーク	4
■ 日本留学説明会	5
■ インドの教育制度	8
■ インド人材の一例紹介	9
■ 優秀なインド人材獲得に向けて	1 2
■ 本事業問い合わせ先	1 4

留学コーディネーター配置事業（インド）

H29.3 東京大学

日印両国政府が合意した人的交流拡大政策

今後5年間（2015年～20年）で1万人のインド人留学生や短期招聘の実現（2015年12月合意）

- ★ 日印原子力協定書関係
- ★ STS forum インドワークショップ
- ★ 日印友好交流年 2017年は日印文化協定締結60周年記念
- ★ 文科省関係
 - ・ 国費留学（大使館推薦国費・鉄道省派遣留学生含む）
 - ・ JSTによるインド関連事業
 - さくらサイエンスプラン、スーパーサイエンスハイスクール
 - 戦略的国際共同研究プログラム、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム
 - ・ JSPSによるインド関連事業
 - ・ 世界展開力強化事業（インド）
 - ・ トビタテ!留学JAPAN
 - ・ スポーツ交流事業
- ★ 外務省関係
 - ・ イノベーション・アジア事業
 - ・ 対日理解交流促進プログラム（JENESYS）
 - ・ IIITDMJ支援事業
 - ・ JICA：IITH支援プログラム、青年海外協力隊日本語教師派遣
 - ・ JICA インターシッププログラム
 - ・ 国際交流基金・日本語教育プログラム
- ★ 経産省関係
 - ・ ものづくり技能移転推進プログラム（JIM-Japan India Institute of Manufacturing）
 - ・ I T人材確保
 - ・ 産総研DAILAB共同研究所設立
 - ・ グローバル人材育成インターンシップ派遣事業
- ★ 国交省関係
 - ・ インド鉄道省人材育成（幹部と若手の短期研修）
 - ・ 観光客拡大に向けた措置（VISA緩和等）
- ★ 法務省関係
 - ・ インド人学生に対するビザの要件緩和
- ★ 地方自治体・姉妹都市
 - ・ 富山県・AP州 富山県インド特別奨学金プログラム
 - ・ 山陰5市・ケララ州
 - ・ 兵庫県・グジャラート州、他

インド事務所（JSTとの共同事務所）を活用した日本の全ての大学へのご協力

有力大学・高校訪問、日印学生交流支援、日印教師間交流促進支援が活動の3本柱。月例留学コーディネーター（インド）委員会にて、活動方針を協議し各事業の企画立案しています。

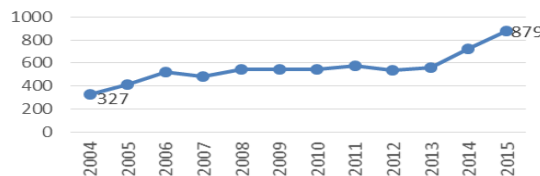


現地入試等へのご協力
TV会議システム利用

各種広報活動
インド事務所HP等

各大学の資料を展示して現地学生・保護者との個別相談

日本のインド人留学生数の推移*



日本のインド人留学生はわずか879名。現在人口12.6億のインドは、2030年までに中国を抜き人口世界第1位になると予想されています。世界各国が優秀なインド人材獲得に向けて1960年代より積極的に活動しています。

*日本学生支援機構(JASSO) 調査による(各年5月1日)
**IIEのOpen Doors 2015による

重点分野での獲得活動

日本の強みがわかる分野(新幹線・ロボット)に注力

- ・ 大使館推薦国費外国人留学生制度を活用したインド鉄道省からの留学生受入れに協力
- ・ インド人学生が好きなロボット分野をハイライト。人工知能の適用分野として日本製ロボットが人気。
- ・ 原子力合意に基づく人材育成や宇宙分野が次の課題



IRT Research Initiative, UTokyo

IT・ITC人材獲得は重要課題。待っていても来てくれません。日本を好きになって貰う活動が重要

インド人の留学先

1位	米国	194,438	(2016年3月現在)
2位	カナダ	44,695	(2015年現在)
3位	豪州	35,480	(2015年現在)
以下	ニュージーランド	20,000以上	(2016年7月現在)
	英国	16,745	(2015-16年現在)
	中国	16,694	(内医学部8千人含む)(2015年現在)
	ドイツ	13,740	(2017年1月現在)
	ロシア	5,878	(2015年現在)
	アイルランド	905	(2014-15現在)
	シンガポール	2万～3万人	(未確認)

留学コーディネーター（インド）委員会

委員長：東京大学インド事務所 所長 吉野 宏	在インド日本大使館 （文科省ご出身）一等書記官 児玉大輔、吉田和久
ムンバイ総領事館領事 角田淳一	チェンナイ総領事館領事深尾淳一 4月21日以降専門調査員島田めぐみ
ベンガルール総領事館副領事 田中聡一郎	コルカタ総領事館副領事 加藤麻奈美
JICAインド事務所 江原由樹 JICA専門家：IITH Friendship 松尾美紀,IITH 客員助教 片岡広太郎	JF ニューデリー日本文化センター 所長 宮本 薫
JSTインド代表 西川裕治	HIDAニューデリー事務所 所長 栗山 明
経産省参事官 JETROニューデリー産業調査員 降井寮治	立命館インド・オフィス 所長 北村昇三 4月1日付け 新所長 芦田恵樹
日本語センター 代表 名須川典子	J T B インディア シニアプロ ジェクトマネジャー 鳥居葉子
WISDOM WORLD SCHOOL 理事（国際担当） 秦 智	桜美林インド連絡事務所/桜美林イ ンド同窓会事務局/ゼンリンインド 支店長/山陰インド協会インド 支部長 二宮 祐
PASONAインド 副社長 鎌田とも子	磯貝富夫（ブネ在住、シャープ インド社長歴任）
長岡技術科学大学インド連携コー ディネーター（I I Tマドラス校） 小林（クリシュナピライ）憲枝	岡山大学名誉教授・特任教授 インド感染症共同研究センター長 篠田純男
LS Creative Learning Pvt. Ltd （株）SCCI JAPAN会長 菊池廉也	産業技術総合研究所 バイオメデ イカル研究部門長 近江谷克裕

各種インド同窓会・関係団体一部紹介

MOSAI	会長	Dr. Ashok Jain 京都大学理学博士物理学専攻
JSPSインドポスドク同窓会	会長	Dr. Sakthi Kumar 東洋大学教授
AOTSチェンナイ同窓会	会長	Mr. M.R. Ranganathan
AOTSブネ同窓会	会長	Mr. Shuklendu Soman
AOTSケララ同窓会	会長	Mr. Jacob Kovoov
APUインド同窓会	会長	Mr. Mukul Mehta インド新日鉄住金
The University of Tokyo Alumni Association of India(インド赤門会)		Chairman : Dr. Sudhir Misra Prof. Civil Engineering IIT Kanpur
India Science Association in Japan(ISAJ)		AIST Tsukuba Chief Senior Researcher DAILAB Dr. Sunil Kaur
The University of Tokyo Indian Students' Association (UTSIA)		Ms. Vishakha Shankar Master Student Civil Engineering (BTEC IIT Delhi)

日印交流の事例一部紹介 インド事務所HP 人的交流ご参照

- 静岡大学 電子工学研究所教授 早川泰弘研究室
インド人留学生を一番多く獲得している研究室
1997年から現在まで合計52人の研究者を輩出
- 追手門学院大学：インド交換留学生で有名
1970年よりグジャラート州立大学よりインド交換留学生を迎えて
名士が輩出されている。
例：在日インド大使Mr. Sujan R. Chinoy
グジャラート州インド日本友好協会会長Mr.Mukesh Patel
- インド人留学生最長老 歴史の生き証人
アシャ・パーラティ・チョウドリ 朝子（1928年～、昭和女子大学卒）
インド独立の志士。インパール作戦にインド国民軍婦人部隊として参戦
- 日印交流の原点
菩提僊那（Bodhisena）僧正（703～760）
聖武天皇が日本に招いたインド人仏教僧。752年4月9日奈良東大寺大仏
開眼供養式典で開眼師を勤めた。
- 大隈重信侯爵（早稲田大学創立者；1831～1922）
1903年（明治36年）日印協会を設立し初代会長に就任

2016年度 インドにおける 日本留学説明会実施マップ

2017年3月までの留学フェア・
大学・高校訪問主催の説明会、他
機関主催イベント参加による日本
留学の広報活動も合わせると
総計8,600人以上の参加実績

凡例

- . . . 本年度留学説明会実施都市
- . . . 大学資料を配布した訪問都市



日本留学説明会

H29.3 東京大学

★2017年度予定はインド事務所HPイベントご参照ください。 <http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/jp/events/index.html>

平成28年度 在インド日本大使館・教育関係

日時	都市	会場／訪問先
2016.4.4	ジャイプル	マラヴィヤ工科大学 ピヤニ女子大学で大使ご講演
4.26	チェンナイ	インド工科大学マドラス校で大使によるご講演
5.6	ニューデリー	馳文科大臣インドご訪問 イラニ人材開発大臣と会談
7.7-7.9	東京	第1回日印高級教育政策対話
8.16	ムンバイ	インド工科大学ボンベイ校で大使によるご講演
8.22	ニューデリー	デリー大学で大使によるご講演
8.25	パトナ	有名予備校スーパー 30 で大使によるご講演
8.30	ニューデリー	第20期日本インド学生会議大使表敬
9.1	ニューデリー	拓殖大学インド訪問団大使表敬
9.29	ニューデリー	Jジャワハルラルネルー大学で大使によるご講演
10.20	ハイデラバード	インド工科大学ハイデラバード校JICA主催アカデミックフェアで大使主賓ご講演
10.31	ニューデリー	東大 梶田隆章特別栄誉教授（2015年ノーベル物理学賞受賞）ご講演～デリー大学
11.2	ウツタル・プラデシュ州アリガール	東大 梶田隆章特別栄誉教授 国際物理学国際会議ご出席～アリガール・ムスリム大学
11.21	インパール	マニプル大学で大使によるご講演
11.29	ブネ	ブネ大学で大使によるご講演
11.29	ブネ	ティラク・マハーラーシュトラ大学で大使によるご講演
2017.1.3	アンドラ・プラデシュ州ティルティ	東大 梶田隆章特別栄誉教授 第103回インド科学者会議でご講演～SVU
1.21	グワハティ	インド工科大学グワハティ校で大使によるご講演と児玉書記官による留学説明
1.24	サンティニケタン	ヴィシュヴァ・バラティ大学で児玉書記官による 留学説明
1.30	ニューデリー	日印科学技術合同委員会
2.2	ニューデリー	本田財団主催YESアワード授賞式IIインド工科大学学生授賞者向けに大使主賓のご挨拶および児玉書記官・JST・東大による留学説明
2.11-2.12	バンガロール	日本祭（JAPAN HABBA）@St.Joseph's Collegeにて大使御挨拶

平成28年度留学コーディネーター委員会

日時	都市	会場／訪問先	参加者数
8.1/8.2/8.3	ニューデリー	インド工科大学デリー校 / 国際交流基金ニューデリー	155/665
8.4/8.5/8.6	チェンナイ	インド工科大学マドラス校 / ABK AOTS DOSOKAI	135/609
8.8	マドラス	マドラス大学訪問（JSPSインドボストン同窓会）	600
8.10/8.11 8.12	バンガロール	インド理工科大学 / 高校訪問（3校）	184/409
9.19-9.20	グワーリャト	Indo American Education Summit 2016 / アンドラ大学	230
9.24/9.25 9.26	プネ	プネ工科大学 / 私立APTE高校・Bharati Vidyapeeth 大学	1,092/ 145・190
9.27/9.28	ムンバイ	私立R.N. Podar高校 / インド工科大学ボンベイ校	155/210
10.19/10.20	ハイデラバード	国立KVS ODFハイデラバード校訪問 / JICA主催IITHアカデミックフェア参加（IITH+地元2つの高校招待）	30/210 + 120
10.26	ガンツク	シッキム大学訪問（産総研共同研究所設立式典）	100
11.2	カンパール	インド工科大学カンパール校	100
12.1-12.3	ラノー	InnoRail India 2016 国交省主催日本バビリオンに 参加 / 私立City Montessori 高校訪問	180/150
12.12-13	ジャハルプル	インド情報技術大学ジャハルプル校創立10周年シンポ	100
2017.1.6	ニューデリー	デリー大学 Miranda House（女子大）	70
1.9-13	アーメダバード ガンディーナガル	Vibrant Gujarat Global Trade Show '17/ 2高校 州立グジャラート大学・IITガンディーナガル校	1,675
1.24	コルカタ	Presidency大学・私立BIRLA高校	25/400
1.25	カラガール	インド工科大学カラガール校	130
1.31	ニューデリー	JST主催SICORPキックオフ@インド工科大学デリー校	75
2.5	クルクシュトラ	私立WISDOM WORLD高校	180
2.6	チャンディガール	国立Panjab大学	150
2.12/2.14 2.15-2.18 3.13-3.19 3.11-3.14	ニューデリー カンパール ニューデリー ハイデラバード	東大インド体験活動プログラム（インド工科大学 カンパール校との交流プログラム含む） 東大-インド工科大学デリー校交流プログラム 東大 IITH i.school プログラム	120
3.10/3.11	プネ	鉄道省主催・大使館共催高速鉄道セミナー	60

2016年度インドにおける日本留学説明会参加大学 *留コ事業での初参加

	国公立							私立						合計
8月	九州大学	静岡大学	東京大学	長岡技術科学大学	名古屋大学	新潟大学(※)	北海道大学	慶応義塾大学	国際大学	東京電機大学(※)	立命館アジア太平洋大学(※)	立命館大学	早稲田大学	13
9月		静岡大学	東京大学					桜美林大学(※)	創価大学			立命館大学		5
10月		静岡大学	東京大学				北海道大学					立命館大学		4
1月		静岡大学	東京大学									立命館大学		3

本学主催で大使館とJSTの3者による有力大学・高校訪問を行い留学説明会を機動的に開催



留コ委員会で企画した 高校・大学訪問によるPR



インド人・日本人教員による専門分野の模擬講義



インド人日本留学経験者スピーチ、体験談のHP投稿記事・動画紹介

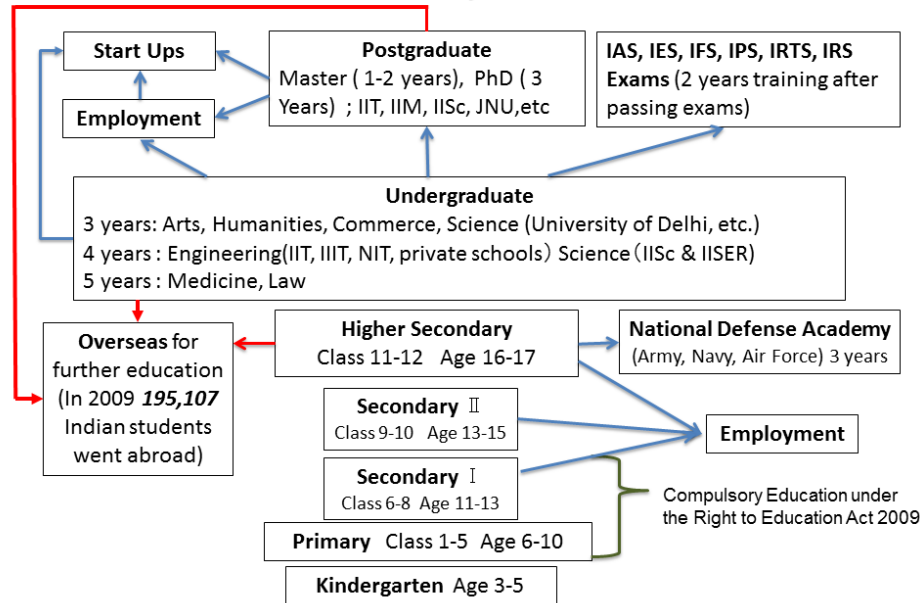


インド人学生による日本留学・インターン経験の発表

本学主催インドにおける日本留学フェアの特徴

インドの教育システム

The Education System in India



2016年度インド政府ランキングトップ校
工学系部門：インド工科大学マドラス校



日本とインドの比較(2015年)

		
18歳の人口	2,434万人	120万人
IIT校入学者数	1.2万人	
割合	トップ0.05%	トップ591人に相当

大学学事歴(高校の暦は千差万別、酷暑:4月-5月)

月	行事
3月	全国高校12年生卒業試験1:主催者:CBSE, ICSE, 州教育委員会
4月	最高学府IIT(2017年22校)共通1次試験 高校卒業試験:IB
5月	IIT共通2次試験 高校卒業試験1結果発表 5月~7月夏休み
6月	IIT共通2次試験結果発表・進学振り分け、同上2結果発表、大学受験ピーク
7月-8月	大学の新学期シーズン(8月1日まで:IITs7月下旬)
12-3月	新卒者就職活動解禁 企業大学訪問によるオークションスタイル

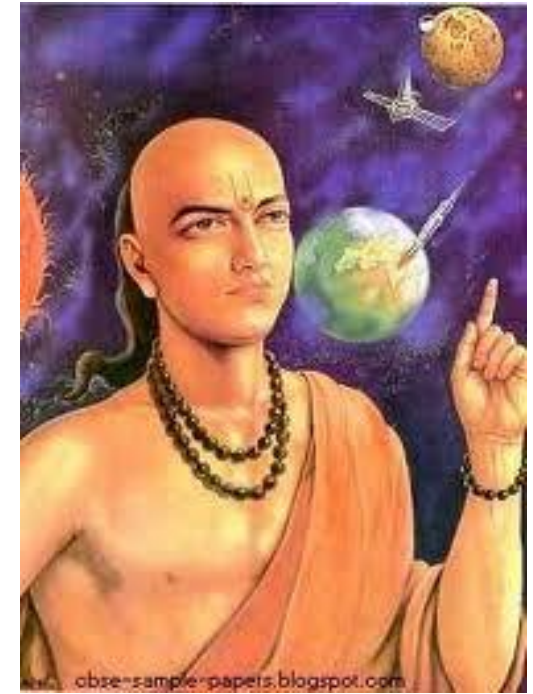
日印比較

	日本 	インド 
小中高	6-3(義務教育9年) -3	5-3(義務教育8年) -2-2
大学/学部	4年 6年(医学部)	3年~4年(法医を除く学部) 5年(法、医)
修士	2年	1年~2年
博士	3年	3年
飛び級	大学入学:無	大学入学:有
大学入試	一般競争	IIT: 定数の49%が一般競争。その他はカーブ制などに割当
性別	男・女の2性	Female・Male・Trans Genderの3性
推薦入試	有	無
1次試験	選択式	選択式(複数正解もあり)誤答減点方式
2次試験	記述式	選択式(複数正解もあり)誤答減点方式
教科		IIT:3教科(数学、物理、化学) 同点の場合は数学得点上位者が優位
入学年齢	現役18歳	現役17歳 飛び級記録IIT14歳で入学
国家公務員試験	上級職:法律、経済、技術の3職種制	上級職:鉄道省以外は職種は1つの職種
政府による格付	無	2016年度より政府は自国の大学ランキングを発表

数学の天才 Mathematicians

Aryabhata (476~550 A.D.) 天才
アールヤバタ 数理天文学者

- 天文学著「アールヤバティーヤ」
 - 0 (zero)
 - Earth is a sphere and revolves around the sun
- 〈参考〉仏教伝来538年（古墳時代）



Srinivasa Ramanujan (1887~1920)
20世紀数学の天才

- Made contributions to number theory, elliptic functions, continued fractions and infinite series.
- 1916: Bachelor of Science by Research, Trinity College, Cambridge University.
- 1918: elected Fellow, Cambridge Philosophical Society, Fellow Royal Society of London and a Fellow Trinity College Cambridge.



アメリカンドリームを体現する2人のインド I T エンジニア



Sundar Pichai

(Born in 12 July 1972 in Madurai, Tamil Nadu, India)

- CEO of Google from 24 October 2015
- IIT Kharagpur (B.Tech.)
- Stanford University (M.S.)
- University of Pennsylvania (MBA)

Satya Nadella

(Born in 19 August 1967 Hyderabad, Andhra Pradesh)

- CEO of Microsoft Corporation from 2014
- Manipal Institute of Technology (B.Tec.)
- University of Wisconsin–Milwaukee (M.S.)
- University of Chicago (MBA)



E-COMMERCE START UPS 2人のインド代表



Binny Bansal

(from Chandigarh, the capital city of Punjab and Haryana)

- Co-founder of Flipkart with Sachin Bansal
- Group CEO of Flipkart from January 2017
- IIT Delhi (Computer Science and Engineering)



Sachin Bansal

(from Chandigarh, the capital city of Punjab and Haryana)

- Co-founded Flipkart with Binny Bansal in 2007
- IIT Delhi (Computer Science and Engineering)

米国ミズーリ工科大学のチラシ



・平均初任給を記載

\$63,350 (Average Starting Salary for all majors for 2014 S&T graduates)

・国内ランキングを記載

NATIONAL RANKINGS FOR MISSOURI S&T

#1

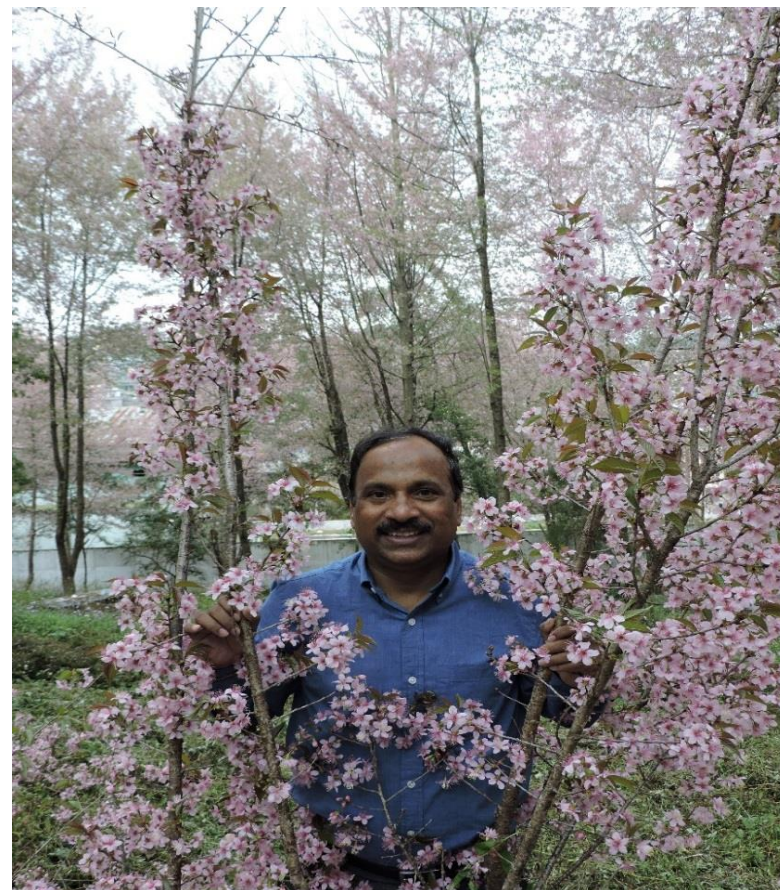
"Awesome College Lab" for our Experimental Micro-four years running (Popular Science, 2010-2013)

#3

Public university for annualized return on investment and 4th overall, according to PayScale.com (March 2015)

#3

Engineering college (College Factual) 64th (July-August 2014 and 2015)



デリー大学Sahoo教授（植物学専攻）は桜をインド東北部に植林し、2016年11月メガラヤ州都シロンで初めてインド桜祭を開催。日本の教育機関と桜の共同研究を希望。

JSTさくらサイエンスプランでインドより大学生・高校生を日本に招致
2015年度330人、2016年度550人、2017年度は最低750人を予定している



2016年8月 鳥取大学工学部がプネ工科大学
(CoEP) より学生6人を招請し、共同ものづくりプロジェクトを実施。乾燥地研究センター見学の記念写真（日本の“夏”に早くも対応したCoEPの学生）



2016年11月 JSTさくらサイエンスプランで来日したインド予備校Super30引率者・生徒と東大留学組2人との記念写真（東大本郷にて）

*Super 30は、低所得者層の子弟を毎年30人無料で名門インド工科大学（IIT）受験に向けて特訓を行っている私塾。IIT合格率9割以上を誇る。

お
問
合
せ
先

留学コーディネーター配置事業（インド）連絡窓口

Web: <http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/index.html>

メール: int-promote.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

担当: 平井・佐野(国際部国際企画課連携推進チーム)

東京大学インド事務所

Web: <http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/index.html>

住所: Ground Floor, No. B-6/22, Safdarjung Enclave,
New Delhi - 110029, INDIA

電話: +91-11-4203-2064

メール: yoshino.hiroshi@mail.u-tokyo.ac.jp

担当: 吉野 宏 インド事務所所長・留学コーディネーター(インド)
Ms. Jaskiran Kaur インド事務所職員